



スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和4年6月30日発行 No.14

だんだんと暖かくなり、外あそびが気持ちの良い季節になりました。今回は『公園へ楽しくお出かけしよう!』をテーマに、公園でのお子さんとの関わり方についてお伝えします。

◎あそびに夢中になっているお子さんに声をかけるときは

ポイント1

“遠くから”“背後から”の言葉かけはお子さんに届きにくいです。肩をトントンとするなど 注意を引き、目線を合わせて から話をしましょう。



ポイント2

「お友だちのうしろに並ぼうね」「砂場は座って遊ぼうね」「あと3回滑ったら終わりだよ」など、短く具体的に話をすると わかりやすいです。



ポイント3

「うしろに並べたね」「座ったね」「おしまいできたね」と、お子さんが言葉かけに応じたら すぐにほめましょう。



◎気持ちよく帰るには…公園のあとの“お楽しみ”を知らせましょう

公園でのあそびが終わっても、次の楽しみがあることがわかると、気持ちの切り替えがしやすくなります。

◎「帰ったら〇〇しようね」と 事前に知らせましょう。

- ① 公園で遊び始める前
 - ② 帰る時間の5分前
- などで、心の準備ができます。

◎お子さんの好きなことを用意しましょう!

- 「ミニカーで遊ぼうね」
- 「〇〇のDVDを見ようね」
- 「プリンを食べようね」

など、具体的に知らせましょう。

声をかけるだけではなく、お楽しみの写真やイラストを見せながら伝えると、よりわかりやすいです。



あそびに夢中になると、大人の言葉かけが届きにくいことが多いです。「公園でのあそびを最後まで楽しめたね!」という経験が積み重ねられるよう、上記のような関わりを参考にしてみてください。

※ 伝え方やほめ方のポイントなど、これまでのスマイル子育てだよりは釧路市 HP に掲載しています。

(<http://www.city.kushiro.lg.jp/kosodatekyouiku/kosodate/1005280/1005394/1005403/1007371.html>)

※ 質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

- ◇ 地域支援相談担当 44-3555
- ◇ 野のはな園 44-1022



スマイル子育てだより
バックナンバーはこちら